

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 347

事務事業名	漁業用施設整備事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	工藤 貴志	内線	251

基本目標	040106	活力に満ちた産業のまち
政策		魅力ある農林水産業の振興
施策		水産業の振興
関連施策		

会計	一般	
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費
事業コード	050100	漁業用施設整備事業

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	漁業従事者	
意図 対象をどのような状態にしたいか	現在の施設が老朽化しており、どの施設にも破損及びひび割れ、腐食等が見受けられる。最低でも現在と同程度の安定的な漁業経営を維持するため、施設の改築が必要である。	
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	漁業施設に対する助成 整備内容 漁具倉庫 30棟「1棟面積(3.6m×2.4m)」 H26:実施設計1式、地質調査1式 H27:工事30棟 荷捌所1棟「1棟面積(11m×12m)」 H27:実施設計1式、地質調査1式 H28:工事1棟 水産物蓄養施設1棟「1棟面積(10m×12.5m)」 H28:実施設計1式 H29:工事1棟 漁礁ブロック設置20基 H30:実施設計1式 H31:工事20基 上架施設1棟 H30:実施設計1式 H31:工事1棟	
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 31 年度	実施方法 補助

成果指標名	漁業用施設整備率(整備完了数)				算定式等	整備済施設数/整備予定施設数
着手前現状値	平成 25 年度	単位	%	0		
完了後計画値	平成 31 年度			100		

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
基本計画	実績・計画額	0	0	0	0	0	0	0	
	項目別進捗率								
実施設計	実績・計画額	0	5,597	2,819	2,245	11,889		22,550	
	項目別進捗率	0.00%	24.82%	37.32%	47.28%	47.28%	100.00%		100.00%
用地・補償	実績・計画額	0	0	0	0	0	0	0	
	項目別進捗率								
建設工事	実績・計画額	0	28,500	39,489	34,940	91,762	0	42,729	237,420
	項目別進捗率	0.00%	12.00%	28.64%	43.35%	82.00%	82.00%	100.00%	
事務費等	実績・計画額	0	220	120	186	2,325	186	186	3,223
	項目別進捗率	0.00%	6.83%	10.55%	16.32%	88.46%	94.23%	100.00%	
合計	実績・計画額	0	34,317	42,428	37,371	94,087	12,075	42,915	263,193
	項目別進捗率	0.00%	13.04%	29.16%	43.36%	79.11%	83.69%	100.00%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	34,317	42,428	37,371	94,087	12,075	42,915	263,193
国庫支出金		22,730	28,204	24,913	62,724	7,926	28,486	174,983
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源		11,587	14,224	12,458	31,363	4,149	14,429	88,210
② 人件費(千円)	0	1,595	3,494	2,211	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)		0.17	0.41	0.26	漁業施設に 対する助成	漁業施設に 対する助成	漁業施設に 対する助成	-
時間外勤務(時間)		155	301	160				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	35,912	45,922	39,582				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度に漁具倉庫30棟の建設、荷捌所の実施設計が完了。 平成28年度は荷捌所1棟の建設、水産物蓄養施設の実施設計を予定。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	台風や大型の低気圧の接近のたびに塩害による被害を受けている漁業施設の建て替えは、安定的に漁業を行ううえで早急に必要である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	施設の老朽化が進んでいるため、安全で利用しやすいように早急に整備する必要がある。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	前年度は、老朽化した漁具倉庫を整備したことにより、雨天時にも漁具の補修が行えるようになり、効率的な漁具の管理が可能となった。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
負担割合は、国の補助基準により決められている。							

【ACTION(改善・改革)】 今後の方向性 終期設定 平成 31 年度をもって事業終了予定

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	平成26年度新規補助事業として採択を受け、平成26年度で養殖カキ筏の設置、漁具倉庫の実施設計、平成27年度で漁具倉庫の新設及び荷捌所の実施設計、平成28年度で荷捌所の工事、ナマコ養貯蔵場の実施設計、平成29年度でナマコ養貯蔵場の工事、平成30年度で漁礁ブロック及び上架施設の実施設計、平成31年度で漁礁ブロック及び上架施設の工事を行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
意見等			内容			

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。